

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0177100260		
法人名	有限会社フローラ		
事業所名	グループホーム上砂川 ユニット遊		
所在地	上砂川町下鶉南2条1丁目3-1		
自己評価作成日	平成24年7月15日	評価結果市町村受理日	平成24年10月9日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosp/infomationPublic.do?JCD=0177100260&SCD=320&PCD=01
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	江別市大麻新町14-9 ナルク江別内
訪問調査日	平成24年9月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

上砂川町唯一の2ユニットのグループホームです。
 ユニートをそれぞれ家族と考え、近所づきあいをし、地域と共にささえあい、穏やかに暮らしております。
 認知症のアクティビティケアに基づき、オカリナ演奏などの音楽療法やホーム内に昭和レトログッズを展示することによる回想法などのケアも行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

砂川市に近い自然に恵まれた静かな場所に、平屋建て、玄関をはさんで左右にユニット遊・笑がある。職員の表情は穏やかで、20歳から60歳代の職員がお互い連携を蜜にして、様々なニーズに応えるため事例を共有しながら安心して暮らせるよう支援している。職員は向上心があり、代表者・管理者はそれを支援し、昨年度介護福祉士試験に3人合格した。また、実技試験に備え指導した先輩職員の支援もあった。利用者の楽しみも多く、歌手やプロレスラー、マジシャンが訪問して得意の芸を披露し、調査当日には、利用者が民謡教室に通う縁で、地元の関係者が民謡で慰問するため訪れ、楽しいひと時を過ごしていた。地域住民も旬の野菜や果物を差し入れ、地域・近隣から様々な人が頻りに訪れる開かれた事業所である。食事は栄養バランスが考慮され、職員と一緒に楽しく食事をしている。時には地域の人が事業所に来てラーメンを作ってふるまうこともある。日常の散歩の機会が減ってはいるが、今年度から地元住民の指導で100歳体操を月2回行い、健康維持に努めている。利用者は千羽鶴を折り、食事の準備や草刈を手伝うなど、自分の出来ることをして、家族、職員、地元住民に見守られながら、それぞれゆったりと自分らしい時間を過ごしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員で作上げた理念を掲示し、常に心がけ、実践に向けて日々努力しています。また職員採用時にも理念の説明をしております。	「楽しく安心して自分らしく暮らす」の理念の他に、地域理念「地域に根ざした視点で地域の方々の声に耳を傾け、連携を図り支えあうように努める」を作り、地域とともにある事業所となるよう常に意識している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	地域の利用者もおり、その方を通じて近所の方もたくさん訪問されております。また行事のあるときはお互い声をかけて交流しております。	民謡慰問には地域住民も含めて15人が訪れ、利用者と交流した。演歌の会、オカリナ演奏や野菜の差し入れなど様々な用事で頻繁に地域や近隣の方が事業所を訪れている。	認知症ケアの啓発や、福祉を理解するため、地域住民に役立つ講演会や相談会を実施するなど、事業所が有する機能を地域へ提供することを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内の認知症の会などに参加して情報交換やアドバイスなど行っております。また薬剤師学生などの実習なども行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度会議を開催したくさんの意見を頂いており、サービス、ケアの向上に活かしております。	地域包括センター、民生委員、認知症友の会、利用者、調剤薬局薬剤師等が参加して年6回開催し、事業所の現状・活動報告を行い、会議内容を議事録に保存して、意見をサービス向上に活かしている。	地域との交流促進のため、事業所に来訪する地域住民に参加を働きかけて、ホームの運営に一層興味をもってもらい、意見が寄せられるよう協力をおねがいするなどの工夫をすることを期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に参加され連携を深めております。また管理者は地域の介護保険計画の運営委員に参加して連携をとっております。	必要に応じて町役場に出かけ説明し、また、管理者が町の介護保険計画の会議に出席する機会を利用し、情報交換を行い連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在、身体拘束が必要な利用者はおりませんが、利用者の気持ちの面でも言葉やさえぎったり、気持ちを押さえつけないように配慮しております。	職員は利用者の人格尊重を第一に考え、身体や心理的拘束のないケアに努めている。職員がゆとりをもち、ストレスをためないことが虐待防止につながると考えている。職員2名が札幌高齢者虐待防止推進研修会に参加して、他の職員と学習内容を共有した。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関する研修に毎年参加し、資料などを回覧し情報の共有をはかり、意識して防止するように努めております。		

グループホーム上砂川 ユニット遊

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、必要と思われる利用者はおりません。また外部の学習の機会がないのも現状です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には管理者より十分に説明し、また不安等にも配慮しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃より利用者、ご家族様とコミュニケーションを図り、要望等をくみとるようにしています。	家族が来所したときは時間をとって会話をするように心がけ、年1回家族にアンケートを実施し意向を汲み取り、月1回「わけわかめ」通信を送付して事業所と利用者の情報を伝えている。家族からの要望で、ユニット入り口に職員の写真を掲示した。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からその都度意見を聞き取り組んでおります。また年2回の会議も行っております。	毎日の申し送り、毎月のモニタリング会議で意見をのべる機会を設けている。意見を言いやすい雰囲気があり、仕事の中でその都度意見や提案を聞いて運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	時間の許す限り、個々と話す機会を多く持ち、やりがい、向上心をもって働けるように努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内・外部の研修に積極的に参加できるようにとは心がけておりますが、個々の意識は研修参加の積極性は見られず、一部の職員が参加する状況です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流はありませんが、個別に医院、薬局、認知症の会、福祉用具販売店、認知症疾患医療センターなどと交流し情報交換などし質の向上を図っております。無理に無駄に同業者との交流はしません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に訪問し、情報収集すると共に、本人、ご家族様の希望、要望を聴取し関係作りに努める努力をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に訪問、来所頂きご家族様の要望等を聞き、不安の解消に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前訪問の際の情報をもとに現時点での、本人にとって最適な環境で生活できるようにご家族様と話し合い共に考えております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支援する、支援されるという意識を持たず、お互いが協働し生活しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時などご家族様と意見交換、情報共有し同じ思いで、支えて行ける様に取り組んでいます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人の面会など、ご家族様の協力も頂いていつでも来所できるよう取り組んでいます。	外部からの来訪を喜んで受け入れる姿勢があり、知人等の来訪も多く、また、以前から習っていた民謡教室に月1回通う方がいて、職員はタクシーの送迎などで支援している。展示のレトロ品を介しての会話が昔を思い出すきっかけにもなっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は見守りの中、利用者様同士の関係性、性格などを把握してトラブルなどに配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も必要に応じてご家族様の相談等に応じております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の言動、行動などから、希望の把握に努め、実現出来るように心がけております。	日々の態度やしぐさから意向の把握に努め、希望・意向を汲み取っている。言葉にならなくても行動や雰囲気から利用者の気持ちを察して、例えば席順を替えてみるようなことがある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族様からの情報を基に生活歴の把握に努め、本人の立場に立つように心がけています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常日頃、身体状況や認知症の状況等の把握に努め、また職員全体に情報を共有するようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の情報や気付き等を計画に取り入れ、本人様に何が必要かを考えた介護計画を作成しております。	日々の記録を基に、意見、アイデアを出し合い、家族・利用者の思いや要望、医者の情報・意見に基づいて、現状に即した介護計画をチームで作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録を作成し、情報を共有して日頃のケアや計画の見直しなどに努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況や要望に応じて出来る限り柔軟に対応できるよう努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	常日頃、町内の交番、消防団、慰問行事、認知症の会などと交流を持つようにしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	元からのかかりつけ医、またホーム往診医との関係を築きながら連携をはかり支援しています。	これまでのかかりつけ医や必要に応じた神経科への受診に同行支援している。提携医が2週に1回往診し、急変の時にはいつでも対応してもらえる関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を確保して、医療行為などの相談、医師との連携など適切な医療を受けられるように支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	認知症医療疾患センター、医療連携室との密接なパイプがあり、密に対応しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医、ご家族様、ご本人様と方針を共有して、何が最優先かを検討しています。	重度化した場合について、契約時に利用者と家族に説明している。重度化が認められた段階で、医師の参加の下で本人・家族に状況や選択肢を説明した上で、方針を決めてもらう体制ができています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ほとんどの職員が普通救命講習を修了しており、また今年度も消防を通じての講習を検討しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練を行っております。また避難訓練は抜き打ちで行う場合もあります。町内会の協力を得て避難場所も確保しております。	年2回、夜間も想定した火災訓練を消防署が参加して行っている。延焼の恐れが少ないので火元にならないよう特に留意し、地域も含めた緊急連絡網を整備し連携体制を築いている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣い、声かけには十分に配慮して行うようにしています。また自己決定を大切にさりげないケアを心がけております。	特にトイレ誘導や汚物処理の際はプライバシーに気をつけている。時間の許す限り傾聴を心がけ、丁寧に対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は見守りの中で、ご本人様が考え、答えを出せるように声かけをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の気持ちを尊重して出来る限り個性のある支援を心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみ、清潔感にも気をつけさりげなく支援しています。またご家族様にも協力を得ています。		

グループホーム上砂川 ユニット遊

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際は会話を楽しみ、食材、話題で季節を感じられるように取り組んでおります。また個々の能力に応じ、出来ることをして頂いております。	利用者の希望や食材から献立は当日決定し、準備に協力できる利用者が職員と一緒にいる。地元の旬の野菜を使った料理を、職員と一緒に会話を楽しみながら食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々にあわせて食事量、形態等把握して食器や食べ方を工夫して提供しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケア時、個々の能力を把握して必要に応じて援助しております。また往診歯科医にもアドバイスをもらっております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自尊心に配慮し、個々の身体機能に応じ、出来る限りトイレでの排泄が出来るように支援しております。	夜間だけオムツを利用する利用者が2名いるが、日中は全員がトイレで行う。記録や観察によって適時の声掛けを行い、自立排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物の中に食物繊維、乳製品を含む食材を取り入れ、また水分量も確保して日常生活に便秘予防を取り入れております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日は決めず週2～3回入浴しておりますが、夜間対応は出来ておりません。また入浴剤など使用して入浴への関心を高める工夫もしております。	状況に応じて週2回から3回の入浴をしている。億劫がる利用者は、意思を尊重し楽しい入浴になるように、その人に応じた方法や、対応する職員を替えて声掛けや誘導をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠できるよう日中の活動を積極的に取り、生活リズムの確保に努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに整理し、いつでも確認できるようにしております。また薬剤師の指導のもとで保管し、誤薬のないように努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を把握して、自ら行えるようなことを支援しております。また季節の行事も大切に提供しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム行事、日頃の散歩、地域行事の活用、町内の温泉など戸外に出るきっかけを作り気分転換、ストレスの解消、五感の刺激を取り入れられるよう考えております。	町内会行事への参加、温泉入浴・花見などできるだけ戸外に出かける機会を設けている。散歩ができないときでも玄関先で日向ぼっこをして外気に触れる機会がある。	

グループホーム上砂川 ユニット遊

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じて判断しておりますが、自己管理できない方や、医療面の制限、資産の有無により対応は難しく、充分には支援できていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個々の希望に応じて対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは季節感、生活感が見られるような環境にしています。また昭和レトロ展を開催して回想法の効果を期待しております。	車椅子が楽に通れる明るい居間には、節分やひな祭りなど季節を感じさせる装飾を掲示し、居心地のよい落ち着いた空間になるよう配慮している。毎年1か月間昭和期のレトログッズを居間に展示し、利用者が見たり、話題にする事で昔のことを思い出すよきっかけになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	空間的な制限がありますが、穏やかに過ごせるような空間にしています。また孤立気味な利用者様には職員が自然な、コミュニケーションをとっております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の私物は出来る限り、ご本人様が在宅で使われていた家具や馴染みな物品を使用しております。	趣味の工作の道具・作品、家具や仏壇など、利用者が馴染みの品物を置いて、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりなど設置しております。また安全面を考慮して段差などなくしましたが、安易な設計で、段差越えのリハビリまでは考えられませんでした。		